

はじめに

平素より地域の感染症対策に御協力いただきありがとうございます。

医療機関向け情報には **医** を、一般施設向け情報には **全** をつけています。

原則毎月第2・4木曜日に配信し、新たな通知や感染症情報等がある場合、随時臨時号を配信いたします。

全数報告：第28週～29週(7/6～7/19) 定点報告：第25週～29週(6/15～7/19)

全数報告疾患情報

医

——市川保健所管内で報告のあった疾患のみ掲載しています

※定点報告疾患については、第25週～第29週のグラフを別添しております

2類感染症	28～29週	累計（年）	5類感染症	28～29週	累計（年）
結核	5	62	百日咳	2	21
4類感染症	28～29週	累計（年）	梅毒	1	17
レジオネラ症	2	2	後天性免疫不全症候群 (HIV感染症を含む)	1	7
A型肝炎	1	3			

前回の配信（7月号①）で掲載した全数報告疾患のうち、レジオネラ症と百日咳(1例)については、今回集計分(第28週)の数値を計上しておりました。お詫びして訂正いたします。

発生動向トピックス

TOPICS 1 7月28日は「世界(日本)肝炎デー」です！

医 全

世界保健機関(WHO)は、患者・肝炎ウイルスに感染している方に対する差別や偏見をなくし、感染予防の推進を図ることを目的として、2010年に7月28日を「World Hepatitis Day(世界肝炎デー)」と決めました。

日本でも、世界肝炎デーである7月28日を「日本肝炎デー」、7月28日を含む1週間を「肝臓週間」として、肝炎に関する知識や予防、治療に係る正しい理解が進むよう普及・啓発を行い、肝炎ウイルス検査の受検を促進しています。令和8年度の肝臓週間は「7月27日～8月2日」です。

“肝炎”ってどんな病気？

肝臓は、消化管から取り込んだ栄養を利用しやすい形に変える他、毒物を分解したり、体内の物質のバランスを維持するなど、生命維持に欠かせない多くの役割を担っています。肝炎では、肝臓に炎症が生じることで肝臓の細胞が破壊され、肝機能が低下していきます。

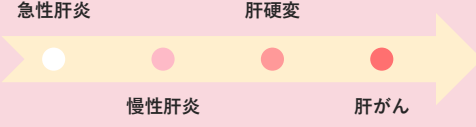
原因

肝炎の主な原因は、肝炎ウイルスによる「ウイルス性肝炎」です。肝炎ウイルスにはA～E型があり、型ごとに感染経路や症状が異なります。日本ではB型肝炎・C型肝炎ウイルス感染による肝炎が多くを占めています。

慢性肝炎の原因として多く、治療しないまましていると、肝硬変や肝がんへ進行することがあります。なお、薬物性・アルコール性・自己免疫性など、ウイルス以外が原因となる肝炎もあります。

なぜ検査が必要なの？

肝臓は「沈黙の臓器」と呼ばれており、病気がある程度進行しないと、症状が出ないことが多いです。本人が気づかないうちに、肝硬変や肝がんへ移行する肝炎ウイルスキャリア（ウイルス保持者）が多く存在することが問題となっています。もし、肝炎ウイルスに感染していても、早期に適切な治療を行うことで、肝炎を治癒、あるいは肝硬変や肝がんへの進行を予防することが可能なため、**早期発見が重要**です。まだ肝炎ウイルス検査を受けたことがない方は、この機会にぜひ検査を受け、感染の有無を確認しましょう。

	B型肝炎	C型肝炎
主な感染経路	血液感染、母子感染、性的接触による感染（感染者の血液や体液との接触）	血液感染
潜伏期間	30～180日（通常90日程度）	15～180日
症状	急性肝炎 ■ 全身倦怠感、食欲不振、悪心、微熱、黄疸等の症状が出現 ■ 重症例を除いて1カ月程度で回復する ■ 稀に劇症肝炎を引き起こすことがある 慢性肝炎 ■ 乳幼児期に感染した場合、数年～数十年間は無症状で感染が持続するキャリアとなり、思春期以降、肝炎が起こり始める ■ 一過性の肝炎を起こした後は、肝機能が安定する人がほとんどだが、10～20%は肝炎が持続する（慢性肝炎） ■ 慢性肝炎の場合、肝硬変や肝がんに移行する可能性がある	急性肝炎 ■ 多くは感染しても自覚症状がない「不顕性感染」 ■ 感染者の60～80%は慢性肝炎へ移行 慢性肝炎 ■ 慢性肝炎の30～40%が約20年の経過で肝硬変へ移行 ■ 肝硬変は、肝がんや食道静脈瘤を合併することがある ■ 肝硬変や肝がんが末期状態に進行すると、肝不全状態になり、黄疸、腹水貯留、意識障害等の症状が進行する
治療	急性肝炎 ■ 基本的に無治療（必要に応じ対症療法） ■ 劇症肝炎は、抗ウイルス薬やステロイドの投与、血漿交換、透析等を行う場合がある 慢性肝炎 ■ 持続感染の場合、ウイルスは完全排除できない ■ 抗ウイルス治療 ・ 核酸アナログ製剤 … 自己中止厳禁 ・ インターフェロン（注射薬） ※最近ではインターフェロン治療が行われることは少ない	■ 抗ウイルス療法 ・ インターフェロンフリー 直接作用型抗ウイルス薬（DAA）内服体の中からウイルスを排除することが目的 
ワクチン	あり ■ 生後1歳までの定期接種 ■ キャリアである母から生まれた児 ■ 医療従事者等の希望者への接種	なし

どこで検査が受けられるの？

検査は、①保健所、②市町村における肝炎ウイルス検診、③千葉県が委託した医療機関（病院、診療所）にて無料で受けることができます。肝炎ウイルスの検査は採血のみです。

市川保健所

市川保健所で受検する際の注意点

- ・ 完全予約制です
- ・ 予約は、予約開始日の午前9時からお電話にて受付いたします
- ・ 症状のある方、治療中の方、経過観察中の方は受け付けておりません
- ・ 詳細は[市川保健所ホームページ](#)をご覧ください

市町村

- ・市に住民登録のある40歳以上の方
- ・肝炎ウイルス検診を過去に一度も受けたことのない方
- ・職場などで受診する機会のない方

対象等の詳細はお住まいの市町村担当課へお問い合わせください。

→[市川市ホームページ](#)

→[浦安市ホームページ](#)

県が 委託した 医療機関

- ・下記①～③の要件のすべてに該当する方が対象 ※年齢制限はありません
- ①県内にお住まいの方（千葉市、船橋市、柏市除く）
- ②市町村が行う健康増進法に基づく健康増進事業や職場での健康診断等において肝炎ウイルス検査の受診機会がない方
- ③過去にB型またはC型肝炎ウイルス検査を受けていない方
- ・必ず医療機関に事前連絡の上、受検してください
- ・詳細は[千葉県ホームページ](#)をご覧ください。



▶千葉県の委託医療機関：<https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/kanen/index02.html>

検査で陽性だった場合には…？

保健所や市の検診等で、肝炎ウイルス検査の結果が陽性(要精密検査)だった場合は、速やかに医療機関を受診しましょう。感染していた場合は、早期に適切な治療を受けることで肝炎の治癒あるいは肝硬変や肝がんへの進行を予防することが可能です。

千葉県では、県や市町村、職域、手術前などに実施される肝炎ウイルス検査受検後の、ウイルス性肝炎陽性者を早期治療に繋げ、重症化予防を図るために、陽性者の初回精密検査・定期検査の費用を助成しています。→[千葉県ウイルス性肝炎患者等重症化予防推進事業](#)

また、B型肝炎及びC型肝炎に対する抗ウイルス治療（インターフェロン治療、インターフェロンフリー治療及び核酸アナログ製剤治療）への公費負担による医療費の助成制度も実施しています。→[千葉県肝炎治療特別促進事業](#)

感染を予防するために

- B型肝炎、C型肝炎は血液や体液を通じて感染するため、他者の血液や体液に直接接触する機会を減らすことが重要です。(感染例：性的接触や母子感染、カミソリの共用等)
 - 保育の現場では、ひっかき傷・かみ傷・すり傷、鼻からの出血等が日常的に生じます。職員の皆さまにおかれましては、「血液・体液には感染リスクがある」という前提で標準予防策を徹底し、血液・体液・排泄物の取り扱いには十分ご注意ください。処理の際は、使い捨て手袋を着用しましょう。
 - B型肝炎はワクチンで予防が可能です。血液や体液に接する可能性の高い職種等では、母子手帳で接種歴を確認し、未接種の方は接種をご検討ください。(乳幼児は定期接種対象)
- [日常生活の場でウイルス性肝炎の伝播を防止するためのガイドライン](#)

参考

厚生労働省「知って、肝炎プロジェクト」<https://www.kanen.mhlw.go.jp/>
厚生労働省「B型肝炎ワクチン」https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/yobou-sesshu/vaccine/hepatitis-b/index.html
国立健康危機管理研究機構 肝炎情報センター
「保育の場において血液を介して感染する病気を防止するためのガイドライン」
<https://www.kanen.jihs.go.jp/content/010/hoiku.pdf>
国立健康危機管理研究機構 肝炎情報センター「B型肝炎」
https://www.kanen.jihs.go.jp/sick/kinds/b_gata.html
国立健康危機管理研究機構 肝炎情報センター「C型肝炎」
https://www.kanen.jihs.go.jp/sick/kinds/c_gata.html

こまめな
手洗い



こまめな
消毒



使い捨て手袋
の使用



共有しない

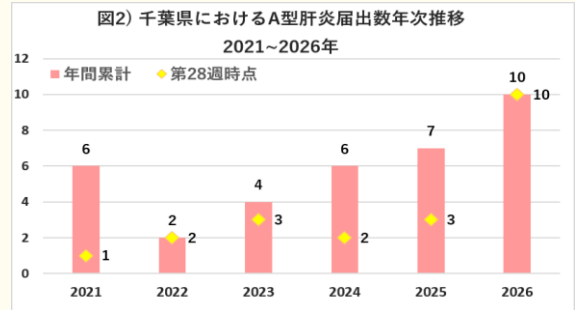
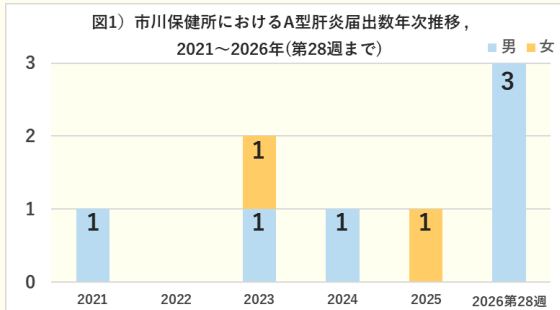


適切な排泄物
・分泌物・血液
の処理



2026年第28週に管内医療機関より1例の届出があり、市川保健所における2026年の累計届出数は**3例**となりました（図1）。保健所管内では、男性の届出数が多い傾向にあります。

千葉県では第28週に2例の届出があり、累計は10例となっています。千葉県・市川保健所とものにすでに**過去5年間で最多**となっており、引き続き発生動向に注意が必要です。



A型肝炎は、A型肝炎ウイルス(HAV)によって引き起こされます。感染すると、**2週間から6週間**(平均4週間)の潜伏期間の後に、発熱、全身倦怠感、食欲不振、筋肉痛などの症状に続き、黄疸や肝腫大などの肝症状が出現します。多くは自然軽快しますが、**年齢が高いほど、症状が重くなる傾向**があり、まれに劇症肝炎に進展する例も報告されています。

B型肝炎やC型肝炎と異なり、感染は主に**ウイルスに汚染された水や食品の摂取(経口感染)**や**感染者との直接的接触(性的接触等による糞口感染)**で広がります。衛生状態や飲用水管理が不十分な地域で流行がみられる一方で、それ以外の地域では、輸入食品や男性間性交渉者(MSM)における集団発生の報告もあります。

感染対策について

手洗いをはじめとする**衛生管理の徹底**、中心部までの**十分な加熱調理**(85℃、1分以上)、患者の排泄物の適切な処理などが重要です。衛生状態の悪いところでは、生水、氷、生肉、生野菜などにウイルスが付着している可能性があります。一度沸騰させた水やミネラルウォーター、加熱調理してあるものを選びましょう。流行地域へ渡航した場合は、未加熱の野菜や魚介類・生水の摂取等は避けましょう。

また、ワクチンによって予防が可能なため、流行地域への渡航者、医療従事者、慢性の肝疾患がある方、MSMなど、リスクの高い方は必要に応じて接種をご検討ください。

参照

国立健康危機管理研究機構「A型肝炎」<https://id-info.jihs.go.jp/infectious-diseases/hepatitis-a/index.html>

国立健康危機管理研究機構「A型肝炎2019年～2025年 IASR2026年3月号」<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/iasr/pathogens/vol47/553/553t.html>

厚生労働省検疫所FORTH「A型肝炎」<https://www.forth.go.jp/moreinfo/topics/name01.html>

千葉県感染症情報センター「2026年第27週」<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/wr2627.pdf>

千葉県感染症情報センター「2026年第27週」<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/wr2627.pdf>

麻 し ん

医 全

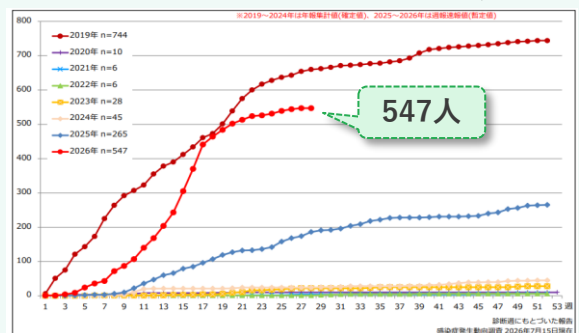
千葉県では、2026年第29週に届出はなく、2026年の累計は32例となっています。

全国では、2026年第28週に届出はなく、2026年の**累計は547例**となりました。（図1）

麻しんは感染力が極めて強く、適切なワクチン接種を受けていなければ誰でも感染するリスクがあります。海外渡航者の増加する夏休みを迎えることから、引き続き発生動向に注意が必要です。

特に海外への渡航前には予防接種歴を確認いただき、**帰国後2週間程度**は高熱や全身の発しん、咳、鼻水、目の充血などの症状に注意し、受診の際はあらかじめ医療機関に連絡をしましょう。

図1：全国の麻しん累積報告数の推移 2019～2026年(第1～29週)



【参考】千葉県感染症情報センター「千葉県の麻しん発生状況(2026年第29週)」

<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/202629measles.pdf>

【参考】JIHS「麻疹発生動向調査 2026年第28週」

<https://idinfo.jihs.go.jp/surveillance/idwr/diseases/measles/graph/2026/meas26-28.pdf>

—— 定点医療機関における感染者数の報告は増加傾向です

市川保健所管内インフルエンザ発生状況（人）

	A型	B型	A+B型	AorB型※	臨床診断
報告数	12	1	0	0	0

※型非鑑別キット

（医療機関からの型報告なく不明な 1 例を除く）

第29週の千葉県全体の定点当たり報告数は、前週の0.22（人）から増加して、0.27（人）となりました（図1）。市川保健所管内の報告数は、前週から増加し、0.65（人）となっています（図2）。

第29週の千葉県内定点医療機関の協力による迅速診断結果について、39例のうち、A型36例（92.3%）、A or B型3例（7.7%）であり、A型が多い状況です。

感染対策

- ①手洗い・手指衛生
- ②マスクの着用・咳エチケット
- ③室内の換気
- ④室内の湿度の保持
- ⑤人込みを避ける
- ⑥ワクチン接種

【参考】千葉県感染症情報センター

<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/202629influenza.pdf>

【参考】厚生労働省「令和7年度急性呼吸器感染症(ARI)総合対策に関するQ&A」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/ekkaku-kansenshou/infuleenza/QA2025.html

2026年第28週から第29週における定点各医療機関からのインフルエンザ報告数をまとめた表です

図1

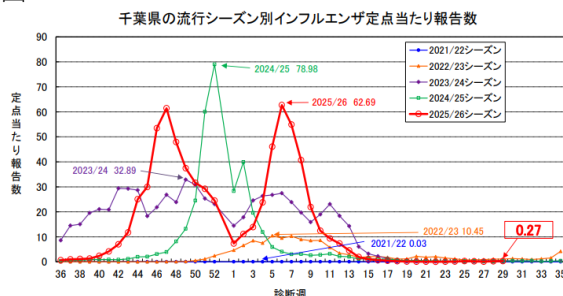
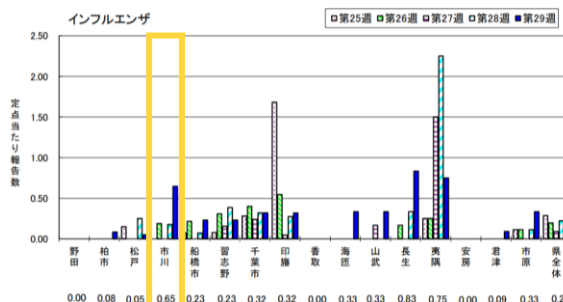


図2



新型コロナウイルス感染症

—— 定点医療機関による感染者数の報告は増加傾向です

第29週の千葉県全体の定点当たり報告数は、前週の1.22（人）から増加して、1.34（人）となりました。地域別では、長生（5.50）、夷隅（3.75）、海浜（2.67）保健所管内が多い状況です。

市川保健所管内の報告数は、前週から増加し、0.35（人）となっています（図2）

感染対策

インフルエンザを予防する方法と同様です

【参考】千葉県感染症情報センター

<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/202629covid192.pdf>

【参考】千葉県・新型コロナウイルス感染症について

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/kansenshou/ncov/covid19-chiba-index.html>

図1

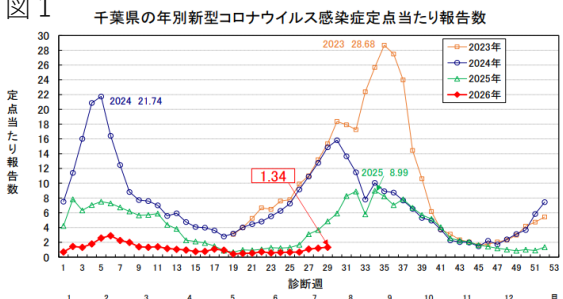
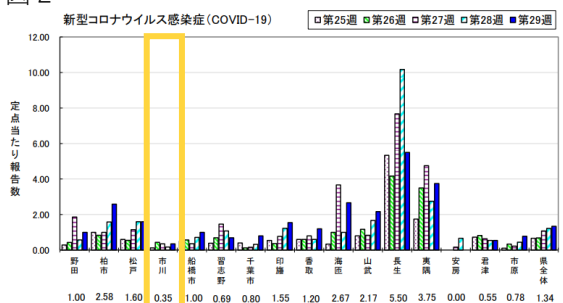


図2



- ・【医療機関の皆様へ】1~4類感染症及び5類感染症の一部(麻しん・風しん・侵襲性髄膜炎菌感染症)の発生届を御提出いただく際は、発生届(オンライン・FAX等)の御提出と併せて保健所までお電話をお願いいたします。なお、閉庁時であっても速やかに保健所へお電話いただきますようお願い申し上げます。
- ・2月1日より疾病対策課の電話番号が変更となりました⇒【047-377-1104】
- ・閉庁日にお電話いただいた場合、「千葉県保健所夜間休日受付センター」の連絡先のアナウンスが流れますので、当該センターに御連絡をお願いいたします。



◀◀感染症法に基づく 医師の届出ハンドブック

https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/pamphlet_A4.pdf

- ・登録アドレスの廃止、変更等は下記アドレスまで御連絡をお願いします。
- ・いちうら感染症情報は、毎月第2・4木曜日を配信予定としていますが、事情により配信が遅れる場合があることを御了承ください。
- ・いちうら感染症情報の内容は主に公的機関の情報を基に作成し、できる限り最新で正確な情報発信に努めておりますが、各登録機関の責任において御利用ください。
- ・また、メールの安全性についても千葉県の情報セキュリティ対策により安全性の確保を図っておりますが、各登録機関におかれましてもセキュリティ等の注意をお願いいたします。

配
信
元

千葉都市川健康福祉センター
(市川保健所)
いちうら感染症情報
ichiurainf@pref.chiba.lg.jp